

防災コラム

#003



名前：伊藤 道廣

卒塾期：1期

活動地域：瑞浪市（東濃地域）

連絡先：wideroad_x@yahoo.co.jp

様々な防災訓練を承ります！

私が所属する「みずなみ防災会」は、2013年に発足し、現在では100名余りの会員が活動しています。

地域や学校、企業など、様々な団体からの要請に基づき、年間で約50回の防災講話や災害図上訓練、屋外での初期消火、地震体験、パッククッキング、体育館を使用した避難所開設訓練などを行っています。

当会の強みは、市役所や消防署・消防団、社会福祉協議会、災害救援ボランティアなどと連携し、様々な要望に対応できることです。

今年にはNHKや日経新聞などが主催する防災啓発活動にも協力しました。

令和5年11月には、岐阜県農政部からの要請を受け、瑞浪市では初となる「ため池災害図上訓練」を実施し、地域住民だけでなく、市職員や県職員にも訓練を体験していただきました。

訓練の対象地域は土岐川とため池に挟まれ、更には土砂災害が発生する危険性が高いことから、どのタイミングでどこへ避難するかを理解し、実践できるようにすることを目標に実施しました。

参加者からは、「地域の危険性がより理解でき、楽しかった。」との言葉をいただき、私たちの理念「楽しい防災訓練」が出来たとともに、私たちのスキルアップにも繋がる良い経験となりました。



令和5年11月 ため池災害図上訓練（瑞浪市）

防災コラム

#002



名前：足田 一男

卒塾期：2期

活動地域：羽島・岐阜

連絡先：bousai@sekitorikun.com

防災会との連携について

羽島の小熊地区に防災士による防災会を立ち上げ、自治会組織や小学校と共に、主に防災啓発活動をしています。小熊地区の皆さんの協力を得ながら、2年越しで地区防災計画の作成を行うことが出来ました。

また、時には他の地区へ出向き、拙い話を聞いて頂いております。

令和5年10月には、飛騨地区消防連絡協議会の消防防災研修会にて話をさせて頂く機会があり、小熊地区では防災会と自治会組織、消防団がどのように連携しながら活動をしているのかを話させて頂きました。

研修会の終了後には、話を聞いて下さった方々が、次々と質問に来られ、列を成す状態となりました。

ご相談の内容から、消防団の皆さんが、どのように地域と連携したら良いのかを苦慮されていることが、ひしひしと伝わってきます。

消防団を地域防災の核にしようと、国は法整備などを進めて来ましたが、現場では、暗中模索の日々が続いていることを実感しました。

今後もテーマに応じた話をさせて頂きますので、ご興味のある方はぜひご連絡ください。



令和5年10月 飛騨地区消防防災研修会の様子（下呂市）

防災コラム

#001



名前：山本 真紀

卒塾期：6期

活動地域：飛騨圏域

連絡先：blackdoglab3@icloud.com

自分サイズの「防災・減災」に取り組んでみませんか？

私は現在、地域・生活環境・年代に応じた取組みの提案やワークショップ運営のサポートなどの啓発活動をしています。

このきっかけは、平成30年7月豪雨災害で、避難所運営のお手伝いをしたこと。この時に地域防災の大切さを痛感しました。また、重度障がいのある息子への対応など、本当にわからないことばかりで、このままでは「だしかん」（このままではいけない）と思い立ち、防災について学び、啓発活動を始めました。

私が講師を担当した美濃地区での講座では、「参加者が自分事として考えられる仕掛けづくり」として、子どもから年配の方まで、その世代にあわせたワークショップの方法や、伝え方を説明しました。

これからも「防災」を身近な「自分事」として捉え、自ら考え、行動する方がひとりでも多く増えるよう楽しい啓発活動を続けていきたいと思っています。

こんな時、お声がけください！

- ①地域での各種防災学習会
 - ②小中学・特別支援学校の防災教室
 - ③地区防災計画作成ワークショップ
- ご希望に合わせた内容で実施します。**



令和5年7月 地域づくり型生涯学習講座（美濃地区）